

講演会「人工知能（A I）で高齢化社会に挑む」を開催

開催日：2019年3月12日(火) 場所：経団連会館
テーマ：「人工知能(A I)で高齢化社会に挑む
～認知神経科学領域診断テストや人工知能(A I)にできること～」
講師：池端 大輔 SOMPO Digital Lab CEO
石山 洸 エクサウィザーズ 代表取締役社長
マイリア・シャーヴァット Ph.D. Savonix CEO・創設者
パネルディスカッション
モデレーター：
河畑 茂樹 SOMPO ケア 役員理事・認知症プロジェクト推進部特命部長

経済広報センターは3月12日、東京・大手町の経団連会館で講演会「人工知能（A I）で高齢化社会に挑む～認知神経科学領域診断テストや人工知能（A I）にできること」を開催した。同センター会員企業等から約150名が出席した。

同講演会は、米国サンフランシスコ市で日米交流を促進している北カリフォルニア・ジャパンソサエティが在日米国大使館の協力を得て進める講演会シリーズ「イノベーションパートナーシップ・スピーカープログラム」の第1回で、日米両国の医療分野で革新的技術のビジネスに取り組む企業家3名を招き、シリコンバレーを中心に活動する先端技術関連企業が社会課題の解決にいかに関与できるかを考える機会を提供するものとなった。

初めに、SOMPOホールディングスの戦略子会社として設立されたSOMPO Digital LabのCEOを務める池端大輔氏が、高齢化社会の二大課題である認知症や介護士不足に技術で貢献する企業を紹介。続いて、エクサウィザーズ社長の石山洸氏が、人工知能の活用によって介護現場でのコミュニケーションが大きく改善された事例を説明した。最後に、米Savonix社のCEOであるマイリア・シャーヴァット氏が、認知症治療を取り巻く課題や認知神経科学領域診断テストの有用性などを指摘した。

後半では、河畑茂樹SOMPOケア役員理事・認知症プロジェクト推進部特命部長をモデレーターに迎え、活発な意見交換が行われた。



(左から、池田氏、石山氏、シャーヴァット氏、河畑氏)

以上